

教員の養成に係る教育の質の向上に関する取組

本学では、教員として必要な資質・能力の育成を期し、以下のような取組を通して、教員の養成に係る教育の質の向上に努めています。

1. 全学的に教職課程を実施する組織体制として教職支援センターを設置し、その運営を担う教職支援センター運営委員会において、学生の適切な指導・支援のあり方についての協議を定期的に行い、教職課程の水準の維持・教育の質の向上に取り組んでいる。
2. 入学時教職課程履修に関するガイダンス、各学期はじめの教職ガイダンスで履修指導を行っている。
3. 教職履修カルテを活用した学びの成果と課題の把握について、各学期はじめの教職ガイダンスで説明を行っている。学生が教職履修カルテに入力した「教職を目指す上での課題」に対して、学科教員が学びをサポートするためのコメントを入力している。実習前年度には、教職履修カルテを活用して、教育実習担当教員が次年度教育実習予定者への個別面談を行い、実習目標の明確化をサポートしている。
4. 教職支援センターに、教職関連図書・教具・教員採用試験関連資料を備え、教職を目指す学生の学びに役立っている。
5. 各学科教員による実習校巡回や、実習生の教育実習中間自己評価、実習校への事後アンケートをもとに教育実習前中後の指導・支援を行っている。
6. 教職実践演習において、学校や地域における教育活動の実際の理解を目的として、教育・地域福祉関係者による研修を実施している。
7. 教職課程で学ぶ学生に、公開授業研究会、オンラインセミナー、教育ボランティア、教員採用に関する説明会等の情報を提供し、参加を呼びかけている。
8. キャリアサポートセンターと教職支援センター運営委員会が連携して、教員採用試験大学推薦選考応募者の受付、教員採用に関する学内説明会、採用内定者による報告会を開催している。
9. 教職支援センター運営委員会において、教員採用試験対策に関する情報提供および学生が運営する採用試験学習会への支援を行っている。
10. 教職支援センター活動報告、学生の実習報告、教育ボランティア活動報告、教育に関する研究論文等で構成する教職支援センター紀要を発行し、教職課程の現状や課題について、教職員・関係機関における情報共有に活用している。また学生の実習報告書を次年度実習生の指導に活用している。